

令和6年度 こどもレンジャーイベント③

エゾシカ探検隊「数えて、学んで、作っちゃおう！」

1月25日(土) ”こどもレンジャー” と ”とんけし児童センター” のみなさんがイベントに参加してくれました！
 今回は、エゾシカについて知ってもらうために、午前中は釧路湿原国立公園のボランティアレンジャーの皆さん、
 環境省釧路湿原自然保護官事務所アクティブレンジャーの石下さん、温根内ビジターセンターの藤原さんにお話を伺いました。ボランティアレンジャーの活動内容を教えていただくなかで、冬に行っているエゾシカの頭数カウントのやり方を学び、実際に湿原に出て体験するイベントを行いました。午後は、釧路総合振興局環境生活課の方々からエゾシカについてのお話を聞き、エゾシカの毛皮に触れた後、エゾシカの角や皮を使ったストラップ作りを行いました。最後は「えぞしかるた」でカルタ遊びをしました。

当日は曇り空で小雪が降り始めるあいにくの天気でしたが、楽しく体験しながら楽しく学ぶことができました。

◇午前一探検編

①開会式、ボランティアレンジャーの活動について

釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会、会長の芳賀さんよりボランティアレンジャーの活動について教えていただきました。



②エゾシカ頭数カウントの説明

ボランティアレンジャーの方々に実際のエゾシカ頭数カウントのやり方を教えていただきました。

「2人でペアを組んで行います。一人が双眼鏡を見て、エゾシカを見つけたら「いち」「いち」と数を言っていきます。」

「もう一人がカウンターを持ち、「カチ」「カチ」と押していきます。」普段は時間を決めて2度ほど行うそうです。



③自然散策—ビジターセンターから展望テラスへ

展望テラスへと向かう途中で、3匹のエゾシカが突然飛び出してきました。みんな突然の遭遇にびっくり。あっという間に走り去っていきました。エゾシカ、たくさん見れるかな！



④展望テラスに到着

「あれー、いない。一匹もない。」「エゾシカ、どこだー?!」

残念ながら、エゾシカには遭遇できませんでした。でもボランティアレンジャーの方が、タンチョウツルを発見！

「あそこだよー、山のほう!」「タンチョウだね。」「二羽いるね!」「見える?」「どこどこ?」と言っているうちに、遥か山のほうへ飛び去って行きました。他にもオジロワシ、ノスリ、シジュウカラ、ゴジュウカラなど鳥たちを垣間見ることができました。



☆小雪が降っている湿原で、みんなで記念写真を撮りました。



⑤展望テラスからビジターセンターへ

途中、なにかの足跡を発見! 「なんの足あとだと思う?」

「タヌキ!」「キタキツネ!」「ヒグマ?」

正解は、「アメリカンミンク」でした。

だいぶ前に養殖のために飼っていたミンクが逃げ出し、
野生化してしまったそうです。

ビジターセンターに近づくと、木道のすぐそばの枯れ木の間に、
枯れ葉のかたまりが見えました。

藤原さんの説明によると、これは「ウグイスの巣の跡」とのこと。

春先はここに巣を作っていたそうで、出入り口の小さな穴も見えました。



⑥閉会式

残念ながらエゾシカの群れを発見できなかったのですが、エゾシカの頭数カウントは「0」でした。環境省のアクティブレンジャーの石下さんから、「0」という数値も大切な記録であること、頭数カウントを行うことで、エゾシカがどのくらい増加しているかを調べることができることを教えていただきました。最後は、参加したみなさんから質問や感想をいただいて閉会となりました。

温根内ビジターセンターから駐車場へ向かう途中で、やっと7頭のエゾシカの群れに遭遇できました。もう少し早く出てきてほしかったですね。

初めての温根内ビジターセンター、初めての木道散策で「つかれたー」という感想が多かったのですが、その笑顔がとても輝いていたように思いました。



◇午後一学び編

1, エゾシカのお話: 釧路総合振興局の環境生活課の川島さんと牛嶋さんにエゾシカについて、いろいろなことを教えていただきました。みなさんにもいくつかご紹介しますね。



- (1) エゾシカはニホンジカの仲間(亜種)で、北へ行くほど大きくなります。
エゾシカは日本にいるシカの中では一番大きいそうです。



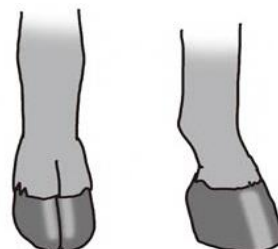
- ・エゾシカ 約140kg
- ・ホシシウジカ 約90kg
- ・キュウシュウジカ 約80kg
- ・ツシマジカ 約40kg
- ・マゲシカ 約40kg
- ・ヤクシカ 約40kg
- ・ケラマジカ 約30kg

オスの体重

北に住むシカほど体が大きい

- (2) シカは鯨偶蹄目(ウシ目)というウシの仲間です。
ヒヅメの形でわかるそうです。
ウシの仲間はヒヅメが割れていますね。ウマは割れていません。

ウシ・シカ



ウマ

(3) 体の色

夏は薄い茶色、冬は濃い茶色に変化します。

夏



冬



(4) 角

オスは角が生え、毎年春になると生え変わります。生え変わったばかりの角は、柔らかいそうです。



(5) エゾシカの歴史

今は、増えてしまって害獣といわれることもあるエゾシカですが、たくさん捕まえられて絶滅しそうになったこともあります。長い間保護されてきたので、数が増えすぎたのです。現在、ハンターさんや罟をしかけてエゾシカを適正な数になるように捕獲しています。また、捕まえたエゾシカは、その命を尊ぶために肉や毛皮として活用しています。

☆毎月、第4火曜日は、シカの日！ だそうです。

みなさんは、シカ肉、食べたことがありますか。



2, ストラップ作成

ストラップ作成では、角みがきやエゾシカの皮ひもの飾り結びに挑戦しました。輪切りにした角の外側がぼこぼこしているの、それを磨いてきれいにしました。また、用意していただいた飾りひもの結び方を見ながら、複雑な飾り結びにも挑戦しました。左右のバランスがポイントだったようです。



3,「えぞしかるた」大会

低学年と高学年の2グループに分かれて、「えぞしかるた」大会を行いました。

「えぞしかるた」というのは、「エゾシカ」と「カルタ」を合わせたカルタで、全部で44枚あります。

「いつだって、つまさきだちで、歩いてる」

「飛び出すな、シカには言ってもわからない」などなど。

優勝者には、記念品として“エゾシカの角”がおくられました。



☆盛りだくさんの「エゾシカ探検隊」の一日でした。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。